

社会デザイン工学科

人材養成および教育研究上の目的

社会デザイン工学科は、自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、地球及び地域の環境問題を直視して自然と調和しながら地震や洪水などの災害に強い社会資本整備を行う建設技術者を養成する。さらに、強い責任感と倫理感を持って次世代に豊かな生活や文化を継承し続けられる社会デザインに取り組める人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

我々の生活に欠かすことのできない社会基盤（インフラストラクチャ）を計画・施工・維持管理する建設工学の意義と自然に及ぼす影響を正しく理解し、責任感と倫理観を有し、自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を育成することを社会デザイン工学科の人材養成・教育研究上の目標としています。

この目標を実現するために、建設工学各分野に対する興味を持ち、構造力学、水理学、土質工学等の専門的な学習を行うために必要な物理・数学等の基礎学力と倫理的な思考能力、市民のための社会基盤整備を実現する夢を持った入学者を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科は、長年に渡り土木業界で活躍する人材を送り出してきた自覚と責任の下に、今後もこの分野で確固たる地位を築ける人材を養成するためのカリキュラムを提供しています。すなわち、構造力学、地盤力学、水理学に代表される土木技術者としての基礎能力を大切にすると共に、これらの応用科目、実験・実習科目をバランスよく開講しています。加えて、今後ますます重要になる環境共生の理念を適切に配慮できる土木技術者を育てるための科目を積極的に開講しています。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

社会デザイン工学科では、当学科の教育研究上の目的に沿って設定した卒業要件を満たした人に学士（工学）の学位を授与します。なお、学士（工学）の学位を授与するためには、特に以下の項目を修得していることが求められます。

1. 社会デザイン工学科カリキュラムの特徴である「社会デザインとの出会い」「キャリアデザイン」「技術者倫理」などを学ぶとともに夏期インターンシップにより職





務遂行能力を実社会において体得していること

2. 学科教育の集大成となる「卒業論文」により問題解決能力を養い、1年次から学んだ技術者としての幅広い教養と応用能力を身につけていること

